

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1174200624		
法人名	有限会社 かみさと介護ステーション		
事業所名	グループホーム かみさと		
所在地	埼玉県児玉郡上里町大字七本木291番地1		
自己評価作成日	令和3年2月13日	評価結果市町村受理日	令和3年4月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社シーサポート
所在地	埼玉県さいたま市浦和区領家2-13-9
訪問調査日	令和3年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭の延長線上の施設として、利用者が職員とまるで家族のように、日々和やかに和気あいあいと生活しています。職員は、利用者の尊厳を尊重し、心に寄り添ったサービスの提供に努めています。今、「コロナ禍」で世間との繋がりが持たないなか、ホームでの日常生活をマンネリ化させず、変化のある生活をと 職員一同アイデアを出し工夫凝らし、少しでも「楽しい」と感じて頂ける日々となるよう努力しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1ユニットでの支援の特長を生かし、きめ細やかな支援が実践されています。コロナ禍にあっても皆で力をあわせ職員・利用者が肩を寄せ合い生活を見ることができました。
 ●計算ドリルやパズルなど習慣化しながら・楽しみながら実施がなされており、利用者任せにしない支援に努めています。家族には月に1回利用料の支払いに訪れてもらうようにしており、関係継続への配慮がなされています。
 ●新型コロナウイルスの影響により外出を自粛していることから利用者の欲求をどのように満たすか思案を繰り返しています。花火を購入し、敷地内で楽しむなど工夫を凝らした取り組みがなされています。
 ●来訪者の記録、消毒の徹底、利用者・職員の検温等新型コロナウイルスの対策を講じています。丸形のテーブルでの食事や季節の飾り付けなど工夫により家庭的な雰囲気がつくられています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 ○ 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている ○ 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが ○ 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「和み」理念に基づいた援助をと 日常生活を心穏やかに過ごせるよう、職員一同支援を共有して、援助に努めています。	理念を玄関に掲示し、来訪者や家族に支援方針を伝えています。ベテラン職員による行き届いたケアにより安定した支援と運営がなされています。	新入職員の加入が予定されており、ホームに溶け込めるよう・考えながら業務を覚えていけるよう育成に取り組む意向をもっています。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルス感染症の為、地域の行事が中止となってしまう外出する先を失ってしまいました。	新型コロナウイルス蔓延防止のため、地域との交流を中断・縮小しています。終息の後、再開を予定しており、それまでの利用者への刺激や社会性の維持に対して思案をしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナウイルス感染症の為、外出する先を失ってしまいました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今期の運営推進会議6回全て開催できませんでした。意見書を同封しましたが、返信はありませんでした。	運営推進会議の委員集合での開催を中止しており、報告書と意見書の送付にて代替しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役場よりメールにて、連絡があるので返信をしたいと思います。そんな程度です。	行政よりマスク・グローブ等備品の配布があり、物資の不足へ対応しています。行政またはインターネットにて情報を収集し、未曾有の事態に対応しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜眠らず徘徊のひどい方がおられて、職員間でのカンファレンスを何度かおこなったが、解決方法が見い出せませんでした。家族に状況説明をし理解を示して頂きました。また、早めに状況を抜け出せるよう検討もしています。	運営家族への説明、状況の検証等により利用者へのケアがなされています。職員配置、職員負担を考慮しながら支援の継続に努めており、職員間の意識の統一にあたっています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者のケアにおいて、介護者側の都合を押し付けていないか等、常に相手の立場に立った支援に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要時には、関係各所より情報の入手を心がけています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	不安時や疑問時には、遠慮なくはして頂けるよう配慮しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今期は、コロナウイルス感染症のために開催する事ができませんでした。中止連絡の際に、意見書を同封しています。	新型コロナウイルス蔓延防止策として「面会はテラスからの窓越しおよび携帯電話を使用しての会話」を実施しています。また日常の様子や行事の写真をたくさん撮影し家族へ報告しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職場での意見は、改善できるところは改善へと向かうよう話し合いを持つよう心がけています。	支援方法の確認やアイデアを出し合うなど職員同士の話し合いや情報共有がなされています。新型コロナウイルスの対策についても勉強会を開き、万一の事態に備えています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場の雰囲気や損なわないよう配慮したり、業務遂行に支障の無いよう働きかけています。また、職員の健康管理にも気を付けています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	気分よく働ける職場であれば、職員は自ずと向上心を持って貰えるのではないかと思います。認知症ケア等の資料を用意しています。時には、苑内研修会の開催をしてケアの質向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今期は、コロナウイルス感染症の為、施設外研修はリモートでした。弊社にはその準備が無く、参加に至りませんでした。来期には、リモートの用意をするべく組織として取り組みをしたいと思っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まずは、職員一人一人が利用者の生活歴等を知り、さらに職員間でのケアの統一を図り、信頼関係の構築に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望を伺い、ひとつずつ解決策を導き出すよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前にご家族との話し合いを持ち、どのような援助を希望されているのか、利用者にはどのようなケアが必要なのか等見極めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「ホームはひとつの家族である」と職員一同が認識しているので、相手への思いやりの心を忘れず支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と話し合い協力し、当人がホームで心穏やかに過ごせる方向性を導き出しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今期は、コロナウイルス感染症の為、面会の自粛をお願いしています。以前のように日時の指定無く面会をできるようになることを願っています。	計算ドリルやハズルなど習慣化しながら楽しみながら実施がなされており、利用者任せにしない支援に努めています。家族には月に1回利用料の支払いに訪れてもらうようにしており、関係継続への配慮がなされています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が仲介に入るようにし、話題作りやレクリエーション等を行い、利用者同士が関わり合いを持てるようにし、さらに、日々穏やかに過ごせるよう支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されたご、亡くなれましたが、今でもそのご家族との交流があります。(小学生であったお孫さんが、小学校の教諭となり再開しました。)		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	雑談時にコミュニケーションを取りながら、当人の希望を聴き出すようにしています。また、困難である場合には、ご家族に意向を伺っています。	利用者の日常の様子を観察し、利用者の目線にたって推察することをケアの基本としています。表情や仕草から利用者の意向を考え、対応にあたっています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の生活歴を知り、場所は変わってしまいましたが、生活習慣の変化を極力抑えた支援に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の心に寄り添うケアに努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の生活歴を考え、どのような支援を行えたのならホームで穏やかな日々が送れるのか、という事を根底におき作成に努めています。	ケアプランは改定の都度職員が確認し、申し送り等とあわせて支援の統一にあたっています。支援での気づきを話し合いとモニタリング結果をケアプラン策定に反映するよう努めています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カンファレンスにより、介護支援専門員による介護計画の作成、その計画書に基づき、職員間でのケアの統一を図り実践に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者やその家族の事を知り、時々に応じた援助が出来るよう柔軟な対応を心掛けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設前にある消防署や裏手にある集合住宅に協力要請をしており、利用者が安全に生活できるよう支援をしています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医の指示に対し、ご家族に相談のもと、疾患に合った病院を選択するなどし、治療を行うようにしています。	往診時には利用者の日々の状況・状態を話し、健康管理に努めています。皮膚科等内科以外の受診については家族と連携し、通院支援にあたっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	早期受診をし、病気の予防に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の医療従事者との情報交換には、個々の既往歴や服薬情報、また、日常の様子を記した資料が用意してあります。診断結果や治療等においては、ご家族と一緒に担当医から話を伺えるようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者に治る見込みの無い疾患が見つかった場合には、ご家族と相談のもと家族の意見を反映しています。	利用者と家族の要望を聞き、利用者の状態に応じた支援体制の構築に努めています。柔軟な対応によりなるべく住み慣れたホームでの生活が継続できるよう取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は、年に一度の救急救命の指導を受けています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練の実施や職員連絡網の作成がしてあります。さらに、施設前には消防署、裏手には集合住宅があり、協力を依頼してあります。	定期的な避難訓練の実施、被災時救出情報の掲載等により万一の事態に備えています。目の前に消防署があることから一番の心配である火災に対しても協力を依頼しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員努めて、利用者の人格を損ね無いよう言葉を選び声掛けや対応を行っています。	さりげないケアの実践により利用者の自尊心を尊重するよう努めています。時間を重ねることで利用者との信頼関係を構築し、気持ち良く過ごしてもらえるよう取り組んでいます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中から当人の思いや希望を聴き出し、その中から自己決定できるように会話をすすめています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れはありますが、当人の希望や体調を考慮した無理の無い支援に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に一度の割合で髪のカットをしています。衣服においては、職員と一緒に選び、最終決定は当人がしています。時に、調整をすることもありますが。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	キッチン内において、お手伝いの出来る方がおりません。食事中はCDをかけてゆつくりと召し上がれるよう配慮しています。	利用者の重度化が進みお、食事作りへの参加が難しくなっていますが、「ごまをする」「テーブルを拭く」などできることを探しながら取り組んでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べ物の好き嫌いのある方がおり、別メニューの対応をしたり、栄養面での偏りの無い献立をと努力しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に、職員見守りのもと個々にブラッシングのケアを行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	職員間では対応が違うことのないように、デリケートな部分だけに統一したケアを行うよう努めています。	排せつの記録を細かく確認し、自然な排せつとなるよう努めています。また利用者の状態にあわせポータブルトイレを使用しており、適切な管理により清潔が維持されるよう努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬に頼ることなく運動や食事で対応をし、身体的に低下が認められた方のみ医師の指示のもと薬の処方をして頂いています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回14:00～行っています。でも、利用者の要望があれば、日程外及び時間外でも対応しています。	スムーズに利用者が入浴できるよう声かけ方法の工夫等に当たっています。二人体制での支援、すべりどめの使用等安全な入浴となるよう整備がなされています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の入浴日に合わせ、パジャマや寝具類等の洗濯をしています。また、天気の良い日には、布団干しを行い気持ちよく休めるよう援助しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の服薬一覧があります。それにより職員は、どの方がどんな薬の服用をしているのか把握でき、薬の効能についても学ぶ事ができています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の得意分野が生かせるよう、役割分担決めてのお手伝いをお願いしています。また、月2回のホーム行事により、日常生活の気分転換を図っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	今期は、新型コロナウイルス感染症の為外出が出来ませんでした。以前のようになることを願うばかりです。唯一の苑外活動は、10月に敷地内において手持ち花火をしたことです。	新型コロナウイルスの影響により外出を自粛していることから利用者の欲求をどのように満たすか思案を繰り返しています。花火を購入し、敷地内で楽しむなど工夫を凝らした取り組みがなされています。	緊急事態宣言が明けたこともあり、桜の花見を検討しています。「飲食なし」・「職員体制の整備」を予定しており、実現が期待されます。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	残念ながら外出時のお買い物に対して、支払いの出来る方がおりません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	当人からの要望があった場合には対応しています。また、家族や友人等から電話があった時には、電話口までの誘導を行っています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	朝の掃除時には、季節を問わず窓を開け換気をしています。また、玄関やホール円卓には、お花を飾るなどし、季節感を感じて頂いています。	来訪者の記録、消毒の徹底、利用者・職員の検温等新型コロナウイルスの対策を講じています。丸形のテーブルでの食事や季節の飾り付けなど工夫により家庭的な雰囲気がつくられています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	円卓での座る場所は決まっていますが、レクレーション時には椅子を動かして対応しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に、使い慣れた家具等の持ち込みをして頂いています。また、趣味の物においても危険性の無い物であれば持ってきて頂いています。	日中はリビングで過ごすことが多いものの、テレビや新聞を楽しむなどゆったりとした生活ができる居室が用意されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々に合わせた支援を行い、日々の生活が張りのあるものとなるようつとめています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	新入職員において、定着しないのは何故か。職員定着の良い職場であると思っていたが、このところ何故か、新入職員が1、2年で辞めてしまい定着しない。勤続年数の長い職員との間に隔たりがあるとは思えない。	新入職員が定着するような働きかけを心掛ける。 仕事面で、覚えるまで気長に指導をする。	利用者の介護度に差がある為、個々のケアを細部に当たって教え、理解できるまで気長に対応する。 他の職員とのコミュニケーションを取れるよう、職場環境を整える。	6ヶ月
2	49	今期はコロナウイルス感染症の為、苑外活動を行うことが出来ませんでした。 日常生活にメリハリをつける為にも工夫をし、外気に触れる活動を来期は計画したい。	人手の少ない時間帯を調査して、苑外活動を計画し実行する。 外気浴は健康にも気分転換にもプラスになるので、職員の勤務調整をし、実行出来るようにしたい。	飲食無しであれば、近隣への苑外活動は可能であると思われる。その時に、苑外の方との接触に十分気を付ける事で実施出来ると思われる。 (3月末にお花見の予定です。ホーム近くの調整池グラウンドでは、調査した結果、12時前後の人出は少ないことが判明。)	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。